

# 令和5年度 事業計画

学校法人 津曲学園

# 目 次

津曲学園	1
鹿児島国際大学	2
鹿児島高等学校	1 2
鹿児島修学館中学校・高等学校	1 5
鹿児島幼稚園	1 8

# 津曲学園

## 【基本目標】

### 1. 連携強化による魅力的な学園づくり

(基本的視点)

I ブランド力・情報発信力の向上

(基本的方向)

I 学園としてのブランド力・情報発信力の向上を図るため、各設置校と連携し、ハード・ソフトの両面から魅力ある教育環境づくりを進めるとともに、資産の有効活用も含め、新たな特色づくりを検討する。

(5年度の主な取組)

- ・創立100周年(学園・鹿高)記念事業の実施
- ・鹿児島国際大学看護学部開設に関する取組
- ・鹿児島国際大学1号館解体及び跡地活用に関する取組

### 2. 学園を支える人材の育成

(基本的視点)

I 人事・研修制度の充実と教育・研究活動の支援

(基本的方向)

I 人事・研修制度の充実と教育・研究活動の支援等を図ることにより、園児・生徒・学生の成長を支える教職員の資質向上を推進するとともに、コンプライアンス遵守の徹底、人を育てる職場環境づくりを進める。

(5年度の主な取組)

- ・人事評価制度の導入
- ・研修制度の充実, 教育・研究活動の支援

### 3. 健全な財政基盤の確立

(基本的視点)

I 安定的な財源確保と経費節減・業務効率化

(基本的方向)

I 安定的な財源確保と経費の節減, 業務の効率化を推進することにより, 永続可能な学園づくりに必要な財政基盤の強化を図る。

(5年度の主な取組)

- ・寄付金募集への取組
- ・ICTを活用した学園一体となった業務効率化への取組
- ・各設置校の全事業, 特に入学者増に向けた各種事業実施による財政状況改善への取組

以上 津曲学園

# 鹿児島国際大学

## 【基本目標】

### 1. 建学の趣旨及び教育目的に基づいた人材の育成（教育課程・学習成果）

～国際的視野でものを考え、地域社会に貢献する人材～

（基本的視点）

- I 各学位課程にふさわしい教育課程及びプログラム展開
- II 効果的な教育方法の開発と質保証

（基本的方向）

- I 建学の趣旨及びポリシーを踏まえながら大学の基本理念をより具現化する教育プログラムを推進する。
- II 教育の質の保証及び向上に向けた「教育方法の開発」「学修成果の可視化」を実現する。

<全学的な取組>

#### I ①【各学部・学科・研究科の取組を含む】

カリキュラムのポリシーに基づく各学位課程にふさわしい授業科目の開設及び教育課程（免許資格課程を含む）の体系的な編成・実施検証

- ・新カリキュラムに基づく授業運営・実施 教務課
- ・本学の実態に合った効果的な授業アンケートの新たな実施  
目標：年4回 研究教育開発センター

- ・授業（講義）に対する総合満足度の向上  
目標：4.4（5段階評価による） 研究教育開発センター

#### ②IUK プログラム<学科基礎プログラム（地域人材育成プログラム、グローバル英語プログラム）、学部横断プログラム>の推進

- ・IUK プログラム（グローバル英語プログラム、学部横断プログラム）履修生の把握 教務課

- ・IUK プログラム（地域人材育成プログラム）の実施  
産学官地域連携センター

- ・地域人材育成プログラムの充実及び認知度向上  
産学官地域連携センター

- ・国内インターンシップにおける地元企業への参加  
目標：参加率 89.0%（参加者数 140 人） 就職キャリアセンター

- ・海外インターンシップ参加  
目標：参加者数 30 人 企画・国際課

<その他学部・学科・研究科における主な取組>

- ・授業（講義）に対する総合満足度の向上 <経済学科>
- ・アクティブラーニング型授業の強化 <経営学科>
- ・実習をはじめとする体験型学習の充実と拡充 <社会福祉学科>
- ・児童学科で取得できる新たな免許資格（特別支援／中・高（国・英ほか）

とコース制の検討 <児童学科>

・授業に対する総合満足度向上のためのFD活動の活性化 <国際文化学科>

・オンライン授業・レッスンの質向上に向けた学科独自の教員研修会の開催  
<音楽学科>

・授業（講義）への総合満足度向上のためのFD活動の推進  
<経済学研究科>

・大学院生が主導する中間発表会等の開催 <福祉社会学研究科>

・学生・教員合同FD協議会の開催及び授業アンケートの実施  
<国際文化研究科>

<全学的な取組>

II ①DXを取入れた教育方法の研究・開発

・本学独自のオンライン授業の研究・開発 研究教育開発センター

・オンライン授業の推進 情報処理センター（総務課）

②FD・SD研修（教育・研究・社会連携等）の充実

・FD・SD研修会の実施

目標：実施回数3回 研究教育開発センター（産学官地域連携センター）

③学内LMS等を活用した学修成果の可視化及びディプロマポリシー達成度の向上

・LCUによる学生のDP達成度を把握する自己評価の実施  
研究教育開発センター

・授業の到達（学修）目標の達成状況の把握及び改善  
研究教育開発センター

・学内LMSの活用 実習支援課，研究教育開発センター

・運用結果（効果及び課題）の検証・改善

<その他学部・学科・研究科における主な取組>

・新カリキュラムにおける授業の到達目標の達成度の把握及び評価  
<経済学科>

・授業の到達目標の達成状況確認の強化 <経営学科>

・演習論文発表会及び実習報告会の開催 <社会福祉学科>

・実習報告会の開催と実習における諸記録の電子化の推進 <児童学科>

・オンライン授業の研究・開発及び学内LMSの活用の推進  
<国際文化学科>

・学生主体の企画・運営による演奏会・公開研究発表会の充実  
<音楽学科>

・学位取得のための協力体制の構築 <経済学研究科>

・島嶼地域，大隅半島等の遠隔地からの学びを実現する授業体制の構築  
<福祉社会学研究科>

・アクティブラーニングによる構想力・問題解決力の向上  
<国際文化研究科>

## 2. 学生の受け入れ

(基本的視点)

- I 志願倍率の向上
- II ニーズに応じた広報活動の強化

(基本的方向)

- I 多様な学生のさらなる受け入れのために、入学試験の見直し及び学生受け入れ環境を充実する。
- II 大学の魅力発信及び卒業生の進路等に関する特色を伝える広報活動を強化する。

<全学的な取組>

### I ①【各学部・学科・研究科の取組を含む】

各学部・学科・研究科の取組の推進による入学定員及び収容定員の確保

- ・多様な入学者選抜の実施による入学者の確保

目標：入学定員充足率 100.0% (入学者数 755 人) 入試・広報課

- ・定員充足率是正に向けた検証

目標：収容定員充足率 96.0% (在籍者数 2,900 人) 入試・広報課

- ・志願倍率向上に向けた検証及び取組の実施

目標：志願倍率 2.2 倍 (入学者数 1,650 人) 入試・広報課

- ・夏季・春季オープンキャンパスの実施

目標：オープンキャンパス参加者数 1,350 人 入試・広報課

### ②高大連携接続型の選抜方法等の検討

- ・高大連携事業を活用した新規入試制度の改善・検討 入試・広報課

### ③外国人留学生の受入継続・促進

- ・現地入試の実施

目標：現地入試受験者数 (オンライン含む) 20 人 入試・広報課

- ・台北・大連オープンキャンパスの実施

目標：全学生数に占める留学生数の割合 5.0% (留学生数 150 人)

企画・国際課

<その他学部・学科・研究科における主な取組>

- ・オープンキャンパスにおける受験案内の強化 <経済学科>
- ・オープンキャンパス参加者確保のための活動の強化 <経営学科>
- ・高校・専門学校等との連携による「Mini オープンキャンパス」の開催  
<社会福祉学科>
- ・オープンキャンパスにおける「研究部会フェスタ」等の充実 <児童学科>
- ・オープンキャンパスにおける魅力ある学科企画の実施及び学科独自サイトの充実 <国際文化学科>
- ・経済学部との連携による3年生及び4年生の演習等での大学院入試説明会パンフレット等の配布<経済学研究科>

- ・大学院入試説明会（学内入試説明会及び海外の現地入試説明会）の取組の強化 <国際文化研究科>

<全学的な取組>

II ①教職協働による高校訪問, 進学相談会等の取組強化

- ・教員・職員による高校訪問

目標：県内訪問高校数（延べ数）200校 入試・広報課

- ・市内・地方進学校の受験動向に応じた高校訪問の実施 入試・広報課
- ・活躍した学生の母校をターゲットとした高校とのより緊密な関係の構築

②鹿児島県外に対する効果的な宣伝・広報の推進及び県外駐在員体制の再構築

- ・鹿児島県外に対する効果的な宣伝・広報の企画・推進及び県外駐在員の再構築 入試・広報課

③大学の魅力及び特色の情報発信の強化

- ・ホームページを中心とした多彩で魅力ある学生生活や特徴的なイベント等の情報発信

目標：ホームページ総アクセス数 1,500,000PV 数 入試・広報課

<その他学部・学科・研究科における主な取組>

- ・学科イベント（経営やDX等を学ぶ合同ゼミ）の活動成果の情報発信

<経営学科>

- ・ホームページやSNS等を利用した積極的な学科宣伝 <音楽学科>

- ・志願倍率向上のための福祉分野専門職団体、専門学校、保育園及び幼稚園等への広報活動の拡大 <福祉社会学研究科>

### 3. 学生支援体制の整備（学生支援）

（基本的視点）

学生支援に関する基本方針に基づく、I 修学支援、II 生活支援、III 進路支援

（基本的方向）

- I 修学支援 学生の修学に関する適切な支援を実施する。
- II 生活支援 学生の生活に関する適切な支援の実施と課外活動を充実させるための支援を実施する。
- III 進路支援 学生の目標実現に向けた入学時からのキャリア形成の支援、就職意識の向上、チャレンジ精神を育むことに努めるとともに、本学同窓会等との連携を強化する。

<全学的な取組>

I ①【各学部・学科・研究科の取組を含む】

各学科長及び学生課、学生相談室並びにキャンパスソーシャルワーカーとの連携による退学率の減少

- ・出席不振の学生に対する面談の実施

目標：全学年の退学率 3.0%（退学者数 82 人以内） 学生課

②基礎教育（リメディアル教育）による学修支援体制の強化

- ・教養チャレンジ等の分析結果を踏まえた学修支援体制の構築

目標：教養チャレンジ等受験率平均 90.0%（4 回分）

資格教育センター（研究教育開発センター, 就職キャリアセンター）

③留学生に対する日本語学習環境の充実

- ・日本語課外教室の実施

目標：日本語能力試験 N1 合格者数 5 人 企画・国際課

④奨学金説明会等の創意工夫による給付奨学金採用率の向上（高等教育の修学支援新制度）

- ・奨学生説明会の実施及び採用状況の確認

目標：給付奨学金採用率 90.0% 学生課

<その他学部・学科・研究科における主な取組>

- ・学科長，学生課，学生相談室，CSW との連携強化及び学修支援対象学生の面談率の向上 <経済学科>

- ・退学率減少のための学修支援対象学生への面談の実施 <経営学科>

- ・配慮の必要な学生の情報共有及び意見交換 <社会福祉学科>

- ・学修支援対象学生への面談実施及び面談記録シート提出の促進

<児童学科>

- ・退学率減少に向けた新入生ゼミのクラス担任による学生指導・サポートの充実 <国際文化学科>

- ・休学・退学率の減少と復学に向けた具体的な支援の検討と実施

<音楽学科>

- ・退学率減少に向けた学生相談室及び CSW の周知・説明 <経済学研究科>

- ・論文指導教員を中心とした指導支援活動 <福祉社会学研究科>

- ・修了年限内の学位取得率の向上 <国際文化研究科>

<全学的な取組>

II ①関係部局との連携による健康診断受診率の向上

- ・定期健康診断の実施

目標：健康診断受診率 84.5%（受診者数 2,443 人） 学生課

②サークル活動の目的と活動状況等の周知による加入率向上

- ・学友会サークル紹介の実施及びサークル活動等の情報発信

目標：サークル加入率 52.5%（加入者数延べ 1,476 人） 学生課

③学生へのボランティア周知と意識向上による活動実施率の向上

- ・「学生ボランティア支援センター」説明会，ボランティア連絡会及び研修会の実施

目標：ボランティア活動実施率 22.5% 学生課

<全学的な取組>

III ①適切な進路支援の実施及び高水準の就職率の維持

- ・就職ガイダンス，大学主催合同企業説明会等，就職活動に関わる支援の実



施

目標:就職率(学部生)98.5%(就職者数463人) 就職キャリアセンター

② 本学同窓会等との連携強化及び卒業生・企業アンケートの活用

・「本学卒業企業経営者の会」総会及び春期セミナーの実施

目標:「本学卒業企業経営者の会」会員数105人 就職キャリアセンター

・卒業生アンケートの実施・活用

目標:卒業生の就職先に関する満足度84.5% 就職キャリアセンター

③ 各学生の資格取得に向けたプランニング相談や教養力向上とともに、各種採用試験及び資格・検定試験に関する講座の実施・支援

・公務員受験対策講座の実施

目標:公務員の現役合格率8.0%(合格者数37人) 就職キャリアセンター

<その他学部・学科・研究科における主な取組>

・進級及び卒業要件の面談指導の強化 <経済学科>

・資格教育センター及び大学院との連携による税理士を目指す学生の育成  
<経営学科>

・社会福祉士講座等の資格講座の充実 <社会福祉学科>

・教員採用試験合格率及び教育、福祉職の就職率の向上 <児童学科>

・ゼミ単位での就職活動及び卒業に向けてのサポートの充実

<国際文化学科>

・就業力育成を目指した具体的な授業の提供ならびに実践的な催しの企画・実施 <音楽学科>

・研究指導教員による学位取得及び標準年限での修了の支援

<経済学研究科>

・大学院生(社会人)のニーズに適した学習指導支援

<福祉社会学研究科>

・進路支援及び修了時満足度の向上 <国際文化研究科>

#### 4. 学問の動向や社会的要請、大学を取り巻く環境に対応した組織体制の構築

(教育研究組織, 教員・教員組織)

(基本的視点)

I 看護学部(仮称)の設置構想の実現

II 時代や地域のニーズに適した学部学科の再編の検討と学部附属組織の活動を通じた学内外における連携・貢献の推進

(基本的方向)

I 看護学部(仮称)の設置構想を推進する。

II 学内外の情勢に即した学部学科の組織体制を構築するとともに、学部附属組織の活動を充実させ、学内との連携及び地域への貢献を実現する。

<全学的な取組>

I ①地域とのつながりを大切にした教育の実施

- ・地域で生活する高齢者の多様な暮らしの在り様の理解  
看護学部伊敷キャンパス事務部
- ・授業アンケート及び履修カルテによる学生の満足度の把握  
看護学部伊敷キャンパス事務部
- ②地域を元気にする看護の探究 新学部設置準備室
- ・実習施設の看護水準向上のための取組みの実施  
看護学部伊敷キャンパス事務部

<全学的な取組>

- II ①基本構想を実現するための学部・学科の再編の検討
- ②児童相談センター及び博物館実習施設の活動の推進
  - ・児童相談センターの事業内容や相談方法の見直しに基づいた相談体制整備の充実 児童相談センター
  - ・企画展及び一般向けイベント開催 実習支援課

<その他学部・学科・研究科における主な取組>

- ・相談活動及び企画事業の見直しと改善策に基づく実施  
<児童相談センター>

## 5. 教育研究環境の整備（教育研究等環境）

（基本的視点）

- I キャンパス（施設）環境整備
- II 学術研究活動の推進と研究成果の還元

（基本的方向）

- I 学生の学習及び教職員の教育研究活動を推進するために、安全性と快適性を考慮したキャンパスの（施設）環境整備を行う。
- II 本学の研究成果を地域社会に還元するために学術研究活動を支援する環境を充実させるとともに、科学研究費などの外部資金獲得を推進し、本学の研究成果を地域社会に還元する。

<全学的な取組>

- I ①学内ネットワークの環境整備
  - ・校舎間光回線を2GBから10GBへ増速 情報処理センター
  - ・ネットワーク機器及びAPの更新 情報処理センター
  - ・セキュリティ及びネットワーク管理用ソフトの更新
- ②坂之上キャンパスと開設予定の伊敷キャンパスをオンラインで結び、総合大学として、遠隔授業教室等の整備及びBYODに応じた学内の有線・無線ネットワーク拡充等の環境整備
  - ・坂之上キャンパス及び伊敷キャンパスのネットワークの整備  
情報処理センター
- ③バリアフリーへの対応や利用者の快適性に配慮した環境整備
  - ・定期的な学内施設・設備の点検、改修 総務課

④図書館電子資料の充実及び利用環境の整備による利用者の増加

- ・年間受入資料の1割程度を整備

目標：電子書籍利用件数 年間1,000件以上 図書館

目標：入館者数 年間92,000人（本館90,000人，伊敷分館2,000人）

図書館

- ・EZproxyの利用促進

目標：情報検索ガイダンス実施 全20回 図書館

目標：データベース利用説明会実施 全6回 図書館

<全学的な取組>

II ①学内出版物及び紀要・教材等の電子化の推進

- ・リポジトリ掲載コンテンツの増加

目標：掲載論文 年間65本（博士論文含む）／9誌 図書館

②外部資金獲得の支援の充実（科学研究費の採択，寄附講座の活用による寄附金の募集）

- ・申請希望及び検討者への支援の充実

目標：科研費の申請件数15件 研究教育開発センター

<その他学部・学科・研究科における主な取組>

- ・学術研究の奨励，講演会・研究会の開催 <社会福祉学科>

6. ローカル及びグローバルの視点で産学官連携及び海外諸機関等との連携強化

(社会連携・社会貢献)

(基本的視点)

- I 大学の「知」の財産を活用し，フィールドワーク，高大連携，大学間連携，地方自治体・地域産業との連携強化及び学習多様化（生涯に渡る学習）に対応するリカレント教育の推進
- II 地域特性を生かした国際化の推進

(基本的方向)

- I 高校，地方自治体及び地域産業と連携して，持続可能な地域社会の発展や課題解決に向けた取組みを推進するとともに，各種講座及び研修を実施する。
- II 鹿児島県の地域特性を生かした国際交流や東南アジア諸国等での新規拠点の開拓を検討するとともに，多様な国籍の学生が学び，留学できる“国際的な教育環境が整った大学”を実現する。

<全学的な取組>

- I ①自治体等からの要請，SDGsを踏まえた地域課題解決のための教職員・学生によるフィールドワーク等教育活動の推進

- ・地域フィールド演習の実施

目標：学生のフィールドワーク参加者数1,200人以上

産学官地域連携センター

- ・地域課題解決に向けたフィールドワーク等教育活動の推進

目標：地域課題解決への貢献件数（提案・提言・実行）14件

産学官地域連携センター

- ・日本税理士会連合会と協同した授業運営・実施 教務課

②高大連携プログラムの実施・強化（中学校含む）

- ・課題探究発表会，中学生・高校生英語俳句コンテスト，高校生よかアイデアコンテストの実施

目標：参加高校数（中学校含む，3つのコンテストの合計）85校

産学官地域連携センター

- ・在学生課題探究プロジェクト及び同コンテストの開催

産学官地域連携センター

③大学間連携の推進

- ・三大学間交流における学生交流の推進 産学官地域連携センター

④生涯学習の推進

- ・生涯学習講座の実施

目標：生涯学習講座の実施件数 年間5回 生涯学習センター

⑤サテライトキャンパスにおける魅力ある講座の開講

- ・サテライトキャンパス講座の実施

目標：企業系講座の開講 年間4講座 産学官地域連携センター

目標：福祉研修の実施 産学官地域連携センター

<その他学部・学科・研究科における主な取組>

- ・地域におけるフィールドワーク，地方自治体や各種法人・団体との共同研究及び活動推進 <社会福祉学科>

<全学的な取組>

II ①鹿児島県・鹿児島市をはじめとする国際交流団体との連携・交流

- ・留学生の県内国際交流活動への参加

目標：留学生の参加者数50人 企画・国際課

②海外協定校との連携・交流促進

- ・海外協定校への留学生の派遣

目標：海外派遣留学生数5人以上 企画・国際課

## 7. 安定した大学運営・財務基盤の確立（大学運営・財務運営・財政の安定化）

（基本的視点）

I 業務の効率化の推進及びガバナンス・コードに基づいた大学運営

II 安定した財務基盤の確立

（基本的方向）

I 業務の効率化を推進し，ガバナンス・コードに基づく大学組織を目的とした人財の育成に取り組む。

II 教育研究を永続的かつ安定して遂行するために必要な財務基盤を確立する。

<全学的な取組>

I ①オンライン会議，ペーパーレス会議の推進

- ・坂之上キャンパス及び伊敷キャンパス間における運用実施及び課題解決  
総務課

②学内業務の効率化

- ・RPA 導入に向けた学内業務の効率化の検討  
目標：RPA シナリオ作成 2本 総務課
- ・学内業務の洗い出し作業の実施 企画・国際課
- ・RPA の利用促進と操作支援 情報処理センター

③大学運営に関する各種研修の実施

- ・SD 研修会への参加の呼びかけ，参加状況の確認等  
目標：SD 研修会への教職員の参加率 100% 総務課

④ガバナンス・コードに基づいた大学運営

- ・ガバナンス・コードに基づいた遵守項目に対する取組の実施状況の点検・公表 企画・国際課

<全学的な取組>

II ①目標とする財務比率の達成（令和4年度～令和8年度 財務 年度別計画）

- ・経常的な収支の安定の確立 会計・管理課，総務課

以上 鹿児島国際大学

# 鹿児島高等学校

## 【基本目標】

### 1. 学校ブランド力の向上

～進路実現に向けた指導体制を強化し、社会全体への貢献度が高い学校を目指す～  
(基本的視点)

- I 進路実現に向けた指導体制強化
- II 人材育成および社会全体への貢献

(基本的方向)

- I 学科目標、進路目的に応じたバラエティ豊かな授業、生徒主体の探究活動、ICT教育の学習環境整備などの指導体制を強化する。
- II ボランティア活動や地域連携などを通して、社会貢献への意識が高い人材を育成し、社会で活躍する卒業生を輩出する。

(5年度の主な取組)

- I 普通科：独自の探究活動(未来探究)  
英数科：探究的活動による難関国公立大学・私立大学の合格者増  
情報ビジネス科：インターンシップの活性化  
教務部：進路意識高揚・悩みへの早期対応に向けた面談実施
- II 普通科：独自の探究活動である「未来探求」で高大連携  
英数科：自ら課題を設定し、情報の収集・整理・分析を行う  
情報ビジネス科：地域連携事業（商品開発）

### 2. 先進的な教育プログラム

～主体的・対話的な学びの充実を図る～  
(基本的視点)

- I コミュニケーション能力の育成
- II ICTを活用した探究活動

(基本的方向)

- I ディスカッションやプレゼンテーションを通して、コミュニケーション能力を磨き、グローバル社会に対応できる資質の育成を図る。
- II 学びの全てが探究活動につながることを認識し、ICTを適切かつ実践的に活用し自らの学びを深める。

(5年度の主な取組)

- I 教務部：ネイティブ教員による「英語」「中国語会話」「韓国語会話」の授業  
留学生をチューターとするエンパワーメントプログラムの実施
- II 教務部：ICTを活用した探究活動の情報収集と研究考察  
探究活動の研究結果発表、校外コンクールへの応募

### 3. 未来を築く進路保証

～大学入試や就職試験に対応できる教育環境を整え、生徒たちの多様な進路を実現する～

(基本的視点)

- I 未知を追求できる確かな学力と自己決定力の育成
- II 多様な進路実現のための資格取得とキャリア教育の充実

(基本的方向)

- I 知識・技能の体系的習得と活用・体験的学びから、汎用的学力を修得し、生徒自らの成長実感を伴う、自身と社会のための進路選択を支援する。
- II 進学や就職に活用できる各種資格取得を強化するとともに、自己の将来に真摯に向き合い、自ら考え行動できる力を養う。

(5年度の主な取組)

- I 進学指導：年次に応じた計画的進路指導実践と進路実現に資する能力・資質開発  
生徒・教員双方による学習と学力目標の共有、及び目標到達度の評価
- II 就職指導：商業や語学を含む各種資格取得対策の充実  
応募前職場見学やインターンシップなど体験的学習への取り組み強化

#### 4. 三弧会・部活動のさらなる活性化

～主体性のある三弧会(生徒会)活動と、全国大会で活躍できる部活動を育成する～

(基本的視点)

- I 学校生活における生徒充実度の向上
- II 全国大会で活躍できる部活動の育成

(基本的方向)

- I 主体的な企画・運営により実施される活動を通して、生徒がより充実した学校生活を送れるようになる。
- II 強化指定部を中心として、全国大会で活躍できる指導体制をつくり、部活動強化を図る。

(5年度の主な取組)

- I 三弧会：クラスマッチ，体育祭，鹿高祭の企画・運営  
SDGsなどの社会的課題への取り組み
- II 三弧会：強化指定部制度の充実  
部活動顧問の指導力向上

#### 5. 生徒募集の強化

～安定した入学者数を確保するために生徒募集活動を強化する～

(基本的視点)

- I 安定した専願入学者の確保
- II 高い受験率の実現に向けた入試制度改革

(基本的方向)

- I 明るい校風，3学科の特長，部活動の活躍，奨学金制度の充実などを広く県内外の中学生に伝え，安定した専願入学者数を確保する。
  - II 新たな選抜方法を検討し，受験者数の増加，各分野で優秀な生徒の確保を目指す。
- (5年度の主な取組)
- I 企画広報部：生徒募集活動の充実と強化  
Web 動画による広報活動の充実，早い年代への広報活動の推進
  - II 教務部：受験生・中学校へ向けた入試データの作成・提供方法の改善

## 6. 職員の資質・能力の向上

～研修制度を充実させ職員の資質・能力の向上を図る～

(基本的視点)

- I 高い教育力を有する教職員集団の醸成
- II ICT 活用指導力の向上

(基本的方向)

- I 教科教育力，生徒指導力，学級経営力，特別な配慮を必要とする生徒への対応など，職員に求められる資質の向上を図る。
- II 各教科・科目で ICT を活用した教育活動を推進し，ICT の強みや特性を生かした指導力の修得を図る。

(5年度の主な取組)

- I 教務部：初任者研修・年次別研修の実施  
キャリアステージに応じた校外研修への参加  
研修動画サイトを利用した自己研鑽の推進
- II ICT 推進室：組織的な ICT 教育体制の整備  
授業力向上を目指す ICT 研修実施

## 7. 安定した財政基盤の確立

～中長期的な学校財政基盤を強化する～

(基本的視点)

- I 健全財政の維持・改善，学校教育予算の拡充

(基本的方向)

- I 安定した入学者数の確保および転退学者の削減により，健全財政を維持・改善し，学校教育予算の拡充を図る。

(5年度の主な取組)

- I 事務室：収入の安定確保と財政状況改善への取組み

以上 鹿児島高等学校



## 鹿児島修学館中学校・高等学校

### 【基本目標】

#### 1. 魅力ある教育課程の編成

～新たな時代に対応した中高一貫教育を推進するために～

(基本的視点)

- I 6年間を見通した教育課程の編成
- II 国際バカロレア(IB)の教育プログラム(MYP)の導入

(基本的方向)

- I 中高一貫の長所を活かし、6か年の教育プログラムを作成し、実践する。
- II IBの教育理念を基盤に、MYPの教育プログラムを導入し、実践する。

(5年度の主な取組)

- I カリキュラムマネジメント、大学などとの連携
- II アクションプラン(行動計画)の実践と見直し

#### 2. ワクワクする学びの充実

～これから求められる学びに向かう力の醸成を図るために～

(基本的視点)

- I 生徒が中心の学びの場
- II 探究活動の充実

(基本的方向)

- I ICT機器の活用を図り、主体的・対話的で深い学びを通して学ぶ意欲と学ぶ楽しさを育てる。
- II 生徒の興味関心を基に課題を発見させ、その課題解決に向けて取り組む力を育てる。

(5年度の主な取組)

- I 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業研究、ICTの活用
- II 学習の方法(ATLスキル)を意識した探究活動の実践

#### 3. 主体的な生徒活動の展開

～これからの社会を生きる力を培うために～

(基本的視点)

- I 生徒会活動の活性化
- II 学校行事・ルールづくりへの参画

(基本的方向)

- I 日常的な生徒会活動の活性化を図り、社会性の向上と協働・自治の態度を育てる。
- II 生徒による学校行事等への企画・運営を推進し、参画意識及び当事者意識を育てる。

(5年度の主な取組)

- I 専門委員会の定例化、あいさつ運動・清掃活動などの生徒主体の活動
- II 体育祭・文化祭・生徒交流活動などの企画運営、ルールづくり

#### 4. 自らの夢実現と個性の伸長

～一人一人が満足する進路を実現するために～

(基本的視点)

- I 将来を見据えた進路設計
- II 自分の良さ, 強みの伸長

(基本的方向)

- I 進路についての生徒理解を基に, 情報提供・情報共有に努め, 学校全体で生徒の進路実現を支援する。
- II 個々の興味関心を基に, 自分の良さや強みに気づき, 伸ばすことで自己肯定感を高める。

(5年度的主要な取組)

- I キャリアパスポートや適職適性診断の結果等の活用, 外部人材活用による対話を中心としたイベントなどの実施
- II 各種資格取得やコンクールなどへの応募, 選択制講座などの実施

#### 5. 教職員の資質向上

～今日的課題に対応する資質・能力の向上を図るために～

(基本的視点)

- I 校内研修の充実
- II キャリアステージに応じた研修

(基本的方向)

- I 時代の変化に対応した効率的な研修を計画し, 研修内容の充実を図る。
- II 各種研修の機会を活かし, 個々の専門性の向上を図るとともに, 教職員としての自らの成長を促す。

(5年度的主要な取組)

- I 定期的な校内研修の実施
- II 校外研修・個人研修への参加

#### 6. 修学館の魅力発信

～効果的な広報活動を推進するために～

(基本的視点)

- I 効果的な広報活動の推進
- II 地域に愛される学校

(基本的方向)

- I 満足度の高いイベント等を実施するとともに, 本校の特色を発信し, 本校への関心を高める。
- II 町内会との連携を図るとともに, ボランティア活動等を通して地域や社会に貢献する態度を育てる。

(5年度の主な取組)

- I 来校者満足度の高いイベントの開催, 塾・学校訪問の実施, HPの充実
- II 町内会(コミュニティ協議会)への参加, あいさつ・ボランティア活動

## **7. 安定した財政基盤の確立**

～将来的な財政の健全性を維持していくために～

(基本的視点)

- I 財政の健全化

(基本的方向)

- I 定員の継続的な充足と経費節減を進めることで, 健全な財政の維持を図る。

(5年度の主な取組)

- I 上記全事業の実施による財政状況改善への取組

以上 鹿児島修学館中学校・高等学校

## 鹿児島幼稚園

### 【基本目標】

#### 1. 保護者に信頼され、選ばれる幼稚園

～子どものよりよい成長を保護者が実感し、保護者のニーズに応える幼稚園づくり～

(基本的視点)

- I 家庭教育や子育て支援の充実及びスムーズな入園への支援
- II 子どもの育ちが実感される取組
- III 働く保護者の子育て支援の充実
- IV 園児募集の工夫と充実

(基本的方向)

- I ① ベビークラブ(0～1歳)やちびっこクラブ(2歳以上)の内容・広報の充実を図る。  
② ベビークラブやちびっこクラブと連動した入園相談や教育相談の充実を図る。
- II ビデオ懇談会や各種たより(園だより, 学年・クラスだより等), ホームページの充実を図る。
- III 年少少の再募集・募集拡大やお預かりの時間・受け入れ人数の拡大を図る。
- IV 定員の充足

(5年度の主な取組)

- I ベビークラブ年間12回, ちびっこクラブ年間9回と各クラブと連動した入園相談・教育相談等の実施
- II ビデオ懇談会の前期・後期実施による成長の可視化と各種便りの定期的発信, ホームページ定期的更新
- III 年少少・つぼみ組の再募集(30人定員の充足)・・・運営課題解決と運営体制の確立
- IV ① 広報の工夫と園見学の充実  
② 満3歳児募集強化

#### 2. 安心・安全の幼稚園

～子どもたちの安心・安全を守る施設設備, 運営体制, 人的環境が整った幼稚園づくり～

(基本的視点)

- I 安心・安全な施設・設備等の環境づくり
- II 安心・安全のための体制づくり
- III 危機管理・危機対応力を高めた職員の育成

(基本的方向)

- I 日常的, 定期的な安全・衛生点検と施設・設備の適正な維持・管理・改善
- II 非常災害時, 感染対策等のマニュアルの整備と職員・保護者への周知
- III OJT, 研修, 訓練により危機管理能力, 危機対応力の向上

(5年度の主な取組)

- I 日常・定期的安全・衛生点検簿の整備と活用マニュアルの作成(システム化・可視化)
- II 非常災害時・感染症防止対応マニュアルの整備と見直し, 内容の共有(研修)
- III マニュアル作成と提案を通じた危機管理能力の向上と訓練を通じた危機対応力の向上

### 3. 強みを生かした幼稚園

～自園のもつ強みを理解し、強みを生かして質の高い保育を実践する幼稚園づくり～

(基本的視点)

- I 恵まれた施設・設備・環境を生かした伸び伸び体験・感動体験
- II 鹿児島国際大学附属の良さを生かした取組
- III 質の高い保育を実践する教職員の育成

(基本的方向)

- I 環境を生かした自然体験や運動遊び, 栽培活動の充実
- II ①大学の専門性を生かした連携  
②教育実習等を生かした教職員の資質向上  
③学生の活用と後継者育成
- III 独自の教育課程作成に基づいた計画的保育と共通実践

(5年度の主な取組)

- I 自然体験や運動遊び, 栽培活動の実施と大型遊具を活用した遊びの研究
- II ①大学の人材を生かした研修や教育セミナーの計画と実施  
②③教育実習の取組と学生ボランティアの活用
- III 4年間を見通した教育課程の作成と実践, 評価, 改善

### 4. 人や地球環境にやさしい幼稚園

～人権意識や環境意識を基盤に置き、人や物、環境にやさしい教育や業務を行う幼稚園づくり～

(基本的視点)

- I 人権の基礎を身に付け, 共生の態度を育成する取組
- II 自己肯定感を高める教育・保育の推進
- III 環境意識を高める保育の実践と教職員の取組

(基本的方向)

- I 教職員の人権意識と特別支援教育の理解の深化に基づいた保育の充実
- II 問題解決的な保育やほめて伸ばす指導の推進
- III 片付けの習慣化や「もったいない」の意識付け, コスト意識を持つての実践

(5年度の主な取組)

- I ①人権や特別支援教育の視点を取り入れた研究保育の実施  
②「なかよしクラス」の活動の工夫と改善
- II 問題解決の過程や自己肯定感を高める働きかけを取り入れた保育の実践
- III エコ保育所等の認定に基づいたエコ活動の推進とリサイクル・リユースを取り入れた保育の実践, 節電・節水・節約を意識した園生活の推進

### 5. 成果や課題が可視化され, 改善を図る幼稚園

～園経営や保育, 業務状況を可視化することで課題や成果を明確にし, 改善を図る幼稚園づくり～

(基本的視点)

- I 保育や業務の状況や結果を可視化し活用する取組
- II 保護者の意識や評価を可視化し、改善に生かす取組
- III 園経営や教育課程の成果と課題を可視化し、改善する取組

(基本的方向)

- I 保育や業務の振り返りを行い、結果を職員で共有・検討
- II 幼稚園の教育環境、保育、職員対応に対する保護者評価の実施
- III 園経営や教育課程に基づいた実践やシステムについて評価

(5年度の主な取組)

- I ①「週案・記録カード」「業務日誌」等を活用した保育や業務の評価、改善、情報共有  
②個別面談による保育や業務の目標の共有と評価、改善
- II 「鹿児島幼稚園の教育に関するアンケート」による園経営や保育、業務の評価と改善
- III 行事反省や公開保育による保育活動や運営の評価・改善と課題や成果の共有

## 6. 健全な財政基盤の確立を図る幼稚園

～入園児の安定的な確保や各種支援制度の活用により収入の安定を図るとともに、計画的で効率的な予算の執行による安定した財政基盤の構築を図る幼稚園～

(基本的視点)

- I 安定的な財源確保と経費節減・業務効率化
- II 各種補助事業や支援制度等の有効活用

(基本的方向)

- I 財政状況改善への取組による経常収支差額の黒字化
- II 補助事業・支援制度等の実施状況把握と検討

(5年度の主な取組)

- I 経常収支差額の黒字化に向けた取組の遂行(経費節減による収支状況の改善)
- II 活用可能な補助事業や支援制度への確実な申請と活用

以上 鹿児島幼稚園